

熊本でサッカーを“プレーする・応援する・支える”すべての人に

KFA NEWS

Kumamoto Football Association News ▶ <http://kumamoto-fa.net/>

2019.12

WINTER

No.17

熊本県サッカー協会広報紙

2019年12月25日発行 通算第101号

発行者／一般社団法人 熊本県サッカー協会 総務・広報委員会



■新会長略歴

1948年9月9日生まれ。熊本市出身。江南中～済々黌高校～熊本大学を経て中学校教員となり、熊本県トレセン、九州トレセンのコーチ・監督を務める。また、熊本県中学校体育連盟会長、理事長を歴任し、教育行政とのつながりも。熊本県サッカー協会では、3種委員長、監事、副会長を経験し、2019年6月に、協会内から初めて会長に就任。3年半前に患った悪性リンパ腫を克服し、現在も熊本オールドキッカーズの一員としてプレーする。

県協会、新たなステージへ。 新会長に前川隆道氏就任

今年6月、前会長・田川憲生氏の退任に伴い、新たに会長に就任した前川隆道氏。熊本県サッカー協会では初めて、協会内部出身の会長です。特集では、前川新会長に今後の県サッカー界と県協会の発展に向けての課題や抱負を聞きました。

新会長あいさつ

県サッカー界の 競技力向上だけでなく サッカーを通した “人づくり”を

熊本県サッカー協会
会長 前川 隆道

田川前会長の後を受け、今年6月に熊本県サッカー協会会長に選任いただきました前川隆道です。これからの県サッカー界の方向性や、一般社団法人としての協会運営の舵取りをすることとなり、身の引き締まる思いです。

私自身のサッカーとの出会いは、中学校時代にさかのぼります。当時はまだマイナースポーツの部類で、熊本市内でもサッカー部のある中学校は限られており、教員団(熊本教員蹴友団)でプレーしている先生が務めている学校にサッカー部がある程度でした。

中学1年の時、当時の顧問であった高木正義先生に「サッカー部を作るから入らなさい」と誘われたのがきっかけでサッカーを始め、熊本県中体連で優勝を経験しました。同時に、YMCAの子どもたちを指導されていた緒方健司先生のお手伝いなどをやるようになりました。

〈2ページへ続く〉

用具の貸出を行っています！

アレが
足りない…

熊本県サッカー協会では、所属チームやクラブ、都市協会などへ、マイクロバスやサッカーゴール(少年用)、フットサルゴール、自動体外式除細動器(AED)などの用具貸出を行っています。ご希望の方は、県協会事務局(☎096-247-6980)までお問い合わせください。

※一部使用料・協力金をいただきます。
※貸出用具の一部はtoto助成事業にて購入しています。

貸出用具
の一例



AED(自動体外式除細動器)



移動用マイクロバス(29人乗り)

貸出用具の詳細などは熊本県サッカー協会ホームページでご確認ください

KFA NEWS

熊本県サッカー協会広報紙

広告協賛募集中

熊本県サッカー協会では、熊本のサッカー情報や活動状況をより多くの皆様にお伝えするために、本協会に所属していただいている会員(チーム)向けに機関紙「KFA NEWS」を発行して参りました。

2015年度から、さらなる紙面の充実と親しまれる広報誌にするために「KFA NEWS」のリニューアルを行い、広告協賛を募集しております。

仕 様：タブロイド版・8ページ 横273mm×縦406mm
発行部数：5,000部／1回
配布対象：会員(約600チーム)、公共施設、スポーツ施設、各種イベント

詳細は熊本県サッカー協会ホームページよりご確認ください。

特集 熊本県サッカー協会新会長に前川隆道氏が就任



サッカーと関わり続けた人生
育ててもらった恩返しを

その後、済々黌を経て熊本大学に進み、教員となつてからは勤務校を指導する傍ら、先輩である遠山和美先生、藤野健一先生とともに、熊本県トレセン、九州トレセン等のコーチや監督として中学生の指導にあたってきました。

その一方、教員団で選手として長年プレーし、現在も「熊本オールドキッカーズ」の一員としてシニアサッカーを楽しんでいます。3年前前に悪性リンパ腫が見つかりましたが、約半年の治療で寛解に至りましたが、健康な体も含め、今の自分があるのは間違いなくサッカーのおかげです。

そうした思いから、田川憲生前会長の退任を受け、これまで私を育ててもらったサッカー界に恩返しができればという気持ちで、会長職に就く決意をしました。ジュニアからシニア、そして障害者サッカー等、全てのカテゴリーを把握する大きな責任を感じています。

田川前会長が掲げた2つの目標
実現に向け一歩ずつ前進を

熊本県サッカー協会には、田川前会長の下でも進められてきた、「熊

本県を日本有数のサッカー王国にする」「フットボールセンター建設」という2つの大きな目標があります。

前者については競技力の向上が重要で、県内の各地域協会での育成活動をさらに充実させるとともに、「世界で活躍できる選手、サッカーを通して広く国際社会に貢献できる選手」の育成を目指し、技術委員会やJFAアカデミー熊本宇城、そしてロアッソ熊本といった関連団体と連携した取り組みを一層強化していかなければならないと考えています。

合わせて、2022年の栃木国体から少年女子(U16)の種目が加わるほか、日本サッカー協会が2023年の招致を目指す女子ワールドカップも見据え、とりわけ女子のジュニア世代の育成と、受け皿となる環境整備に力を入れていきたいと考えています。

また、「フットボールセンターの建設」については、まだまだ多くの課題があります。しかし1つ1つを丁寧にクリアし、身の丈にあった形で少しでも早く実現できるよう、関係各所と話し合いを進めながら取り組んでいきたいと思っています。

諸先輩方のサッカーへの想いを
次世代へつなぐ役割果たしたい

子どもの人口減少や小学校の部活動廃止など、スポーツを取り巻く環境が変化していくなか、多くの熱心な指導者が日々、県内各地で汗を流して指導にあたっていることは、熊本県サッカー協会の大きな強みです。個々の技術の向上やチームとしての結果を追求するのみならず、「サッカーを通じた人づくり、社会に貢献できる人づくり」を基本理念としながら、諸先輩方がこれまで積み上げ、築いてきたサッカーへの想いを受け継ぎ、少しでも良い形で次世代へつなぐ役割を果たせればと考えています。そのためにも、熊本県サッカー協会へのこれまで以上の熱いご支援、ご協力をお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

熊本県サッカー協会の基本構想

2002年4月、熊本県サッカー協会は「基本構想」を決定し、向かうべき目標と到達点を明らかにしました。その後、当協会の法人化、日本サッカー協会の「2005年宣言」、ロッソ熊本の誕生など、県サッカー界にとっても大きな出来事が相次ぎました。そこで、これまでの活動の成果と進展を踏まえ、大きな環境の変化にも的確に対応するため、2007年4月1日に、それまでの「基本構想」を改訂。今後も、熊本県サッカー協会では、基本構想に沿って、さらなる県サッカー界の発展に向けて積極的に取り組んでいます。新会長就任にあたり、改めて熊本のサッカーファミリーの皆さんに、「基本構想」をお知らせします。

1 基本理念

サッカーを通して豊かなスポーツ文化の振興に寄与し、人々の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。

2 基本目標

夢のあるあなたが主役の熊本サッカー

3 基本方針

する人が楽しめるサッカー
見る人が感動できるサッカー
支える人が喜べるサッカー

4 基本計画

(1)競技力向上

- ア) 現在のトレセン活動を一層推進し、個々の技術力の向上を図り選手層を厚くするために、各年代の連携と強化を継続的にを行います。
- イ) 全国トップレベルで活動できるチームの育成を支援するとともに、国際的に活動できる選手の輩出に努めます。
- ウ) 各年代における競技人口の割合増加に努め、安定した競技力向上の基盤確保を図ります。

(2)人材育成

- 1. 指導者の育成と活用
- ア) 公認指導者の増加を図るとともに、指導者の組織を強化・支援し、指導体制の一層の充実を図ります。

- イ) 学校、地域及びクラブチーム等との連携を図り、指導者の活用と交流等について支援できる体制を構築します。
- ウ) 女子の指導者育成を積極的に支援します。

2. 審判員の育成

- ア) 審判員育成活動を一層推進し、1級・2級・3級・4級審判員の増加を図ります。

- イ) 審判員アセッサーやインストラクターの増加に努め、審判員の技術向上を図ります。

3. 運営スタッフの育成と確保

- ア) 協会活動の一層の充実発展を期すため、事業の企画及び実施に関わる人材の育成を図ります。

- イ) サッカーボランティアの輪を広げるとともに組織化を図り、各種大会やイベント運営のサポートを充実させます。

(3)生涯スポーツの促進と地域との連携

- 1. 生涯スポーツと少子高齢化社会への対応
- ア) サッカーファミリーの拡大を図り、熊本サッカーを確立します。
- イ) シニア層の活動の場を広げ、地域に密着した生涯スポーツを支援します。
- ウ) キッズや少年・少女及び女性層への普及と育成を進め、交流の輪を広げます。

- エ) フットサルの普及推進を図り、サッカー愛好者の増加に努めます。

2. 地域スポーツ文化発展への対応

- ア) 郡市町村協会との連携を強化します。

- イ) ロアッソ熊本を支援します。

- ウ) 他スポーツ団体との連携強調を進めます。

- エ) 社会貢献活動を推進します。

(4)環境整備

1. 財政基盤の充実

新たな財源確保と予算の効率的運用を図ります。

2. フットボールセンターの建設

サッカー発展のシンボルとなる施設を建設し、よりよい環境の充実を目指します。

3. 地方自治体等との連携及び公共施設の活用

- ア) 公共施設の整備と有効活用及び事業活動の推進を図るため、自治体等との連携を深めます。

- イ) 県内自治体の指定管理者制度を活用します。

4. メディカルサポート体制の構築

医事関係機関との連携を図り、医学的支援体制の確立を目指します。

- 5. 広報体制の充実とITを活用した諸システムの構築
- ホームページを有効活用し、多様でタイムリーな情報を提供します。



優勝★熊本市



準優勝★上益城郡

元号が「令和」となつて初めての「第74回熊本県民体育祭宇城地域大会」が、9月14日・15日の2日間に渡り、気温30度を超える暑さの中、宇城市観音山運動公園を会場に開催されました。本年度開催地の宇城地域では、宇城市協会、宇土市協会、下益城郡協会に加え、地元の松橋高校、小川工業高校サッカー部の皆様にも、会場の準備から大会運営までご協力いただき、大変お世話になりました。

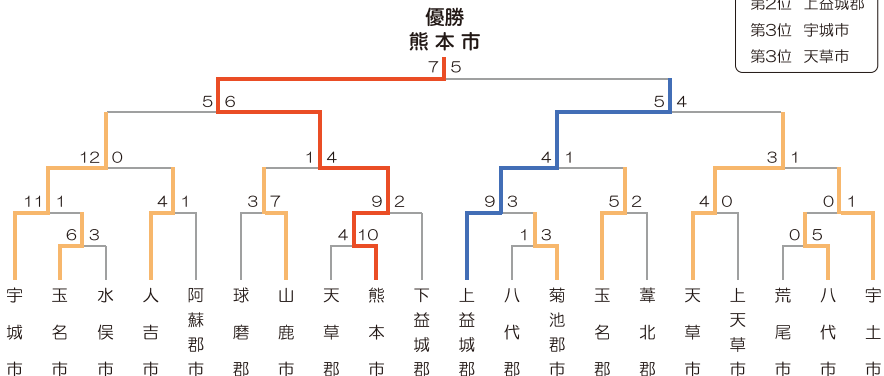
同大会には全20郡市が参加。トーナメント方式で行われた結果、熊本市が優勝を果たしたほか、準優勝に上益城郡、第3位に宇城市、天草市が輝きました。

なお、来年度(令和2年度)の第75回県民体育祭玉名荒尾大会は、令和2年9月19日・20日の2日間、長洲町のクリーンパークファイブにて開催されます。

第74回
熊本県民体育祭宇城地域大会は
「熊本市」の優勝で幕を閉じる

第74回熊本県民体育祭宇城地域大会 サッカー競技結果

試合会場 / 宇城市観音山グラウンドA・B・C・Dコート





小学校の教員を定年退職後も再任用で教鞭を執る傍ら、クラブチームで小学生たちの指導を続けている石橋泰孝さんと、プロ入りを目指して社会人チームでプレーした経験を生かし、現在はブレイズ熊本の代表として世界を見据えた選手の育成にあたっている野元恒兵さん。4種世代に関わるお2人に、指導者としての心構えや熊本サッカー界の今後について聞きました。

昭和、平成を経て、令和の今こそ4種年代から熊本のサッカー界を**変える時**



「指導者も勉強し、長いスパンで夢を持たせたり技術を高めたりする指導が必要」

〈石橋〉

「まず、お2人が指導者になった経緯を教えてください。」
石橋 私自身は、小学校4年生の3学期に、YMCAでサッカーを始めました。その時に指導されていたのが緒方健司先生。その後、京陵中学校、東海大二(現東海大学熊本星翔)高校を経て、福岡大学の体育学部に進みました。ずっとサッカーに関わりたと思っていて、サッカーを教えたいから学校の先生になったようなものです。



いし ばし やす たか
石橋 泰孝さん
1957年生まれ。大学卒業後の1982年に教員となり、学校部活動を通してサッカー指導にあたる。大谷幸輝(J2新潟)、西翼(韓国・大邱FC)、高江麗央(J1ガンバ大阪)など、プロの道へ進んだ教え子も。2017年3月に定年退職し、再任用で引き続き教壇に立つ一方、リベルタ北熊本FCで指導。1996年に第1回の緒方健司賞を受賞している。

野元 私は、選手として在籍していたブレイズ熊本で、中山貴夫さん(現ロアッソ熊本ユース監督)と一緒にクラブの子どもたちを教え始めたのがスタートです。選手だった頃は「指導者になろう」という気持ちはなかった。ただ、指導者にはすごく恵まれていたので、「指導者になりたい」というよりも「こういう大人になりたい」という憧れはありました。

「4種年代を指導するにあたって大事にしていることはありますか？」
石橋 年代的に、フェアプレーを教えることが大事だと思います。私たちの時代も、勝つために反則すると「そんなことは教えてない」と怒られていましたし、指導する立場になっても、そんなことをして勝っても嬉しくありません。フェアにかつ激しく戦うことを伝えなければいけないと常に思っています。

「4種の指導者には、「チームとして結果を出すこと」「技術を高めること」と合わせ、「サッカーを好きになつてもらう」という役割もあると思います。子どもたちが夢中で取り組むために必要なことは何でしょうか？」
石橋 学年が上がるごとに練習のレベルが上がり、厳しさを求めるのは仕方ないことですが、サッカーってやっぱり、遊びの延長だと思ふんです。結果としてそれが仕事になる人たちは幸せだけど、誰もがプロになれるわけではない。年齢を重ねていく中で、今やっていることを利用しながら、もっと楽しめて、長くサッカーが続ける子が増えればいいなと思います。

「4種の育成に関わるみんなで底辺をさらに広げ地元の選手がプロになっていく形を作りたい」〈野元〉

野元 子どもたちが夢中になるのに大事なものは、実は僕ら大人がノータッチでいることだったりします。自分たちが小学生だった時のことを思い出してみても、休み時間のサッカーや練習前に遊び半分でやっていた時が盛り上がりつつありました。ですから、クラブの練習でも時折、最初の30分はウォーミングアップ代わりに自由なミニゲームを取り入れることもあります。「でも、ふざけるなよ」と釘は刺しますけどね笑。

「お2人がサッカーを始めた昭和から平成を経て令和の時代になり、サッカー環境は大きく変わりました。」
野元 ロアッソ熊本というプロチームが誕生したこと、そして、どんな変化があったと感じますか？

石橋 ロアッソ熊本を応援してくれる県民も大勢いるし、昔とは比べものにならないくらい、サッカーの裾野が広がったことは、とても嬉しく感じています。子どもたちが間近で試合を見て、「自分もあんな風になりたい」と思えるような「クラブが地元にあるのは大事なこと。その中に、自分たちが育



の もと こうへい
野元 恒兵さん
1980年生まれ。熊本市立飽田東小でサッカーを始め、高校卒業後はブレイズ熊本、アルエット熊本などでプレーし、1999年の「くまもと未来国体」での成年男子3位入賞に貢献。2006年からブレイズ熊本の指導者として子どもたちの育成に関わり、「熊本から世界へ！プロジェクト(セカプロ)」などを通じて広くジュニア年代の指導にあたっている。

「最後に、これからの4種の育成について、指導者や熊本のサッカー界に望むこと、期待することがあれば聞かせてください。」
石橋 今のままでは何も変わりません。熊本県を代表するクラブが全国に通用するようになりながら、私たちはそこを倒すことを目指して、県全体のレベルを高めていく必要があります。そのためには指導者も勉強しなければいけないし、関わる人みんなで力を合わせて、熊本のレベルを引き上

げる努力をしないと、いけないと思います。
野元 4種年代では、まだ全国優勝の経験がありませんからね。私たちの世代としては、今まで頑張ってきた指導者の先輩方が作られた指導者の先遣隊が作り上げてきたものを理解し、より良いものにして後輩に伝えていく必要があると思います。海外の試合やプレー動画を観る機会が増えた分、頭でっかちの指導者も増えたように感じています。子どもたちは本当に上手くなりましたが、より良い選手になるにはやはり人間性も大事。子どもたちの意見や発想を指導者が認めることで、チャレンジする力や積極性が身に付くと思います。
石橋 チームとして結果を出すことは簡単にはいきません。ジュニア世代では結果を求めるのではなく、長いスパンの中で子どもたちが夢を持てたり、技術を高めたりという指導をしてほしいし、私自身もそうやっていきたいと思っています。

第9回スーパースポーツゼビオカップ KFA熊本県U-10《8人制》少年サッカー大会



このコーナーでは、県サッカー協会が主催・主管する県内のサッカー大会やイベントの様子を紹介します。

九州へとつながるU-10大会 99チームが参加して熱戦を展開！

熊本県サッカー協会が主催し、スーパースポーツゼビオが協賛する「第9回スーパースポーツゼビオカップKFA熊本県U-10(8人制)少年サッカー大会」は、9月8日から21日まで「あゝえ」の4つのパートに分けて開催されました。21日に大津町運動公園多目的広場で行われた各パート決勝の様様を紹介します。

9月8日に、県内6会場での1回戦を皮切りに始まった「第9回スーパースポーツゼビオカップ」。サッカーを通じてU-10世代の健全な心身の育成やフェアプレー精神を培うことを目的に開催されている同大会のもう一つの特徴は、「九州ジュニアU-10サッカーフェスティバル」の熊本予選を兼ねている点です。

今大会の各パート優勝チームは、九州ジュニアU-10へ参加できるため、子どもたちはより高いレベルで九州No.1を目指します。21日の各パート決勝は、台風接近による風雨も心配される中、参加99チームから勝ち上がった8チームが熱戦を繰り広げました。その結果、あパート「ソレッソ熊本U-12V」、いパート「アズズリーノ熊本U-10」、うパート「PROGRESS FC熊本」、えパート「太陽SC熊本U-12」の各チームが優勝。いずれも決勝にふさわしい好試合となり、4パート中2パートで延長戦までもつれる展開に。応援する保護者やチームのメンバーから、終始大きな声援が送られていました。

年に一度の公式戦で サッカーの醍醐味を感じて

「ゼビオカップ」は4種世代が経験する最初の公式戦であり、県内ではU-10唯一の大会。選手たちは、公式戦ならではの緊張感を味わいながら、各パートの優勝を目指します。チーム一丸で目標に向かう気持ちやゲームでの悔しさ、嬉しさを経験し糧にして、今後もサッカーを続けてもらいたいです。



(一社)熊本県サッカー協会
4種副委員長
鶴崎 琢也さん

PROGRESS FC熊本

チームの人数がギリギリで、全員の力で戦ってきました。一人一人が諦めず、練習で培った走りきる力が粘り強い守備を生み、今日の勝利をもたらしたと思います。九州大会も絶対勝つ！

キャプテン・坂田 明優くん



う
パート

あ
パート

ソレッソ熊本U-12V

大会を通して守備が良かったのが勝てた要因だと思います。練習試合や日頃の練習の積み重ねがプレーに出て、みんなの頑張りで優勝できました。九州大会2連覇を狙います！

キャプテン・平井 一輝くん



各パート優勝チーム紹介

太陽SC熊本U-12

どのチームもレベルが高く、楽な試合はなかったですが「優勝したい」という強い気持ちで戦いました。公式戦の緊張感を楽しみながらサッカーをできればと思います。

キャプテン・宮本 万慧くん



え
パート

い
パート

アズズリーノ熊本U-10

接戦になる試合が多くて難しかったですが、大会を通して無失点だったことが勝因です。課題である攻撃面を工夫し、今回の勝利を活かして九州大会に臨もうと思います。

キャプテン・橋本 千愛くん



県協会所属チーム紹介

Vol.12

Pick-up! Football Family

このコーナーでは、熊本県サッカー協会に所属しているチームの中から、毎号紹介します。今後紹介してほしいチームも募集しています(自薦・他薦を問いません)。

チームとして成績を収めるにとどまらず、文化としてのビーチサッカーの普及も目指す

- 1 ビーチサッカーの醍醐味のひとつがダイナミックなプレー。サッカーでは滅多に見られないオーバーヘッドキックも当たり前
- 2 足元は裸足。体に掛かる負荷が高いため、サッカーのためのトレーニングとしても有効
- 3 トレーニングは週6日、チームに所属する松岡選手が私財を投じて菊陽町に整備した専用コートなどで実施
- 4 日本代表経験のある松尾選手が質の高いトレーニングメニューを取り入れ、全体のレベルアップを図る



アヴェルダージ熊本BS

フットサル(ビーチ)

- 設立/2016年
- 監督/永尾 健次
- 選手数/12名

〈チーム沿革〉

2016
(平成28)年

チーム設立
御立岬ビーチサッカーフェスティバル優勝
九州ビーチサッカーリーグ3位

2017
(平成29)年

一般社団法人アヴェルダージ熊本BS設立
第1回 BEACH SOCCER AKASHI FESTA優勝
御立岬ビーチサッカーフェスティバル優勝
ビーチサッカーFESTA2017山陰海岸 shin-onsen優勝
全国ビーチサッカー大会準優勝
九州ビーチサッカーリーグ優勝
地域チャンピオンシップ大会準優勝
第1回 ビーチサッカー沖縄カップ優勝

2018
(平成30)年

御立岬ビーチサッカーフェスティバル優勝
九州ビーチサッカーリーグ準優勝
第1回 碧南カップ優勝
第1回 ビーチサッカーサバイバルカップ in 九十九里町優勝

2019
(令和元年)

御立岬ビーチサッカーフェスティバル優勝
九州ビーチサッカーリーグ優勝

チーム設立から3年と歴史は浅いものの、県内はおろか九州、そして国内屈指の強豪として知られるアヴェルダージ熊本BS。しかし、チーム設立の狙いは単に好成績を残すことにとどまりません。「サッカー」「フットサル」「ビーチサッカー」という種別の垣根を越え、「クラブ」「地域」「スポンサー」の三位一体の体制で、「熊本から世界へ」「ビーチサッカーで人を育む」「地球環境スポーツ」という3つのキーワードの実現を目指しています。

「チームを立ち上げた年に熊本地震が起き、自分たちが結果を出すことで全国に『熊本』を知ってもらうきっかけになればと思いました。また、地域やスポンサーの方々など、クラブを支えてくださる皆さんにも、良い成績を残して恩返しできたら」と、チーム代表であり、一般社団法人の代表理事も兼務する益城町出身の坂田淳さん。

不安定な砂の上でのプレーは、ボディバランスやボールテクニックを養うことにもつながり、サッカーのトレーニングとしても役立つ要素が多いため、競技としてだけでなく、ビーチトレーニングの有効性も発信しながら、普及に努めていく意気込みです。



今年9月に鳥取県で行われたJFA第14回全日本ビーチサッカー大会は、惜しくも予選敗退となった

ビーチサッカーの「日本代表」も輩出する強豪チーム「アヴェルダージ熊本 BS」の選手たちに、それぞれの目標やビーチサッカーの魅力を聞きました。

Player's Comments

GKも得点に関わるプレーができるのが魅力

ロアッソ熊本ジュニアユース在籍時にお世話になっていたコーチに声を掛けてもらい、チームに加わりました。コートが狭いため、ゴールキーパーが直接得点に関わる機会が多いのも、ビーチサッカーの魅力だと思います。

GOLEILO/
藤田 悠太郎さん



チームの日本一と代表に選出されるのが目標

山口県の大学に在学していた時に熊本地震が発生。地元のために何かできないか考えていた時にチームの存在を知りました。ビーチサッカーを通じて「熊本」を全国に発信し、県民の皆さんを少しでも笑顔にできたらと思います。

ALA/
木船 祐樹さん



ビーチサッカーの魅力に取りつかれグラウンド開設

ビーチサッカーと出会って10年。日本代表にも選出され、夢の一つが叶いました。新たに造ったグラウンドを通じてより多くの人にビーチサッカーを知ってもらい、砂の上でのトレーニングなども紹介していきたいと思っています。

FIXO/
松岡 翔太さん



日本代表経験者として若手の育成や技術向上を牽引

熊本は他県と比べてもビーチサッカーのチームが多く、全国的に見てもとても恵まれた環境です。他のカテゴリーと比べてもW杯優勝に最も近いので、まずはビーチサッカーを見て、その魅力を知ってほしいと思います。

ALA/
松尾 那緒弥さん



トレメシ

Vol.11

アスリートのための「トレーニング食(めし)」レシピ

このコーナーでは、サッカープレーヤーをはじめ、アスリートのパフォーマンス向上に欠かせない栄養たっぷりのレシピを紹介します。ぜひお試しください！

recipe
1

もち入りお好み焼き



お好み焼きソースやマヨネーズのほかに、ポン酢や柚子こしょうを付けて食べるのもオススメです！

■材料(2人分)

もち……………お好みの個数
(1枚に1個程度が目安)
豚バラ肉……………100g
キャベツ……………1/4玉
山芋……………1/2本
卵……………1個

ネギ……………1/2束
お好み焼き粉……………100g
ちくわ……………1本
紅しょうが……………適量
天かす……………適量

【作り方】

- ① もちは1個を4等分する。
- ② キャベツはザク切り、ネギは小口切りにし、山芋はすりおろす。ちくわは1cm角程度に切る。
- ③ もちろん豚バラ肉以外の材料をボウルに入れて混ぜる。
- ④ 熱したフライパンに③を入れ、その上にもちと豚バラ肉をのせる。
- ⑤ 両面を焼いて表面がきつね色になったら出来上がり。

recipe
2

フォンダンショコラもち



食べる直前にレンジで10～20秒加熱すると、中のチョコが溶け出して見た目もGood！

■材料(2人分)

もち……………2個
チョコ①……………50g
チョコ②……………板チョコ1かけ
(チョコ②は、もちの中に入れる分です)
湯……………1/4カップ(50cc)
ココアパウダー……………適量

【作り方】

- ① 平たい皿に50cc程度の水を張って、もちをのせる。皿にラップをかけてレンジで1～2分加熱する。
- ② 柔らかくなったもちの熱でチョコ①を溶かし、もち全体にチョコをまぶす。
- ③ ②のもちの中にチョコ②を入れる。
- ④ もちを小皿に入れ、ココアパウダーを振りかければ出来上がり！

渡邊 まみさん／食育料理研究家、アスリートフードマイスター

熊本を拠点に大分でも料理教室の講師として活躍する傍ら、熊本県民テレビ「てれびタ」にも出演中。現在、大学生の長男はサッカーをしているため、アスリートの食事に精通。Instagram(mamipan358)で情報発信中。

Football Column 11

このコーナーでは、毎月、さまざまな形でサッカーに関わっている人たちの「サッカー愛」あふれるコラムを掲載していきます。

フットボールに魅せられて

よくついでに行き、部員のお母さんたちとボール拾いをしたものでした。

それから1年後、監督の清川・寺本両先生の提案で、親子サッカーが行われました。初めてのことで思っ

私とサッカーとの出会いは、昭和59年に熊本市立城山小学校が現在地に移転した翌年ぐらいたったと思います。息子がサッカー部に入部したのをきっかけに、足でボールを扱うスポーツに興味を持ち、練習日には

ようにいかなかったことが、今も楽しい思い出として残っています。このことがきっかけとなり、「子どもたちに負けんように練習しようよ」とお母さんたちが一念発起して創部したのが「城山FCレディース」です。

当時は、私たちと同じように部活でサッカーをする子どものお母さん

たちで作ったチームが、県内にもいくつかありました。しかし、現在までチーム名が残っているのは「城山」のみ。思い出すままに「清水ママ」「鮎田ママ」「日吉貴婦人クラブ」「川尻レディース」などが浮かびます。

あの頃は、今のようにきちんとしたサッカーグラウンドもなく、他チームの練習場で保護者の方々のお世話になりながら交流試合を楽しみました。選手の人数が足りないときなど、試合が終わったチームにその場でユニフォームを着替えてもらい、たった今敵として対戦した人がチームメイトとして試合に参加するなんてこともありました。

県サッカー協会の60周年記念誌「蹴夢」によれば、1982年に第1回熊本県女子サッカー選手権大会を開催。優勝は「鮎田クラブ」(鮎田ママと女子チーム)でした。後に「熊本レディース鮎田」として熊本の女子サッカーを盛り立ててくれ、現在は九州女子サッカーリーグ1部の「熊本ルネサンスFC」となって、今なお女子サッカーの第一線で活動が続いています。

■筆者／上野 住江

1946年11月21日生まれ。城山FCレディース所属。熊本県サッカー協会顧問

令和元年度 熊本県サッカー協会表彰式・祝賀会

県サッカー界の発展に貢献した5人に県協会功労者表彰。各カテゴリーの日本代表選出選手も表彰

11月23日、ホテル日航熊本においてサッカー関係者ら約250人が出席し、毎年恒例の「表彰式・祝賀会」(県サッカー協会主催)を開催しました。

式では、新たに就任した前川隆道会長の挨拶に続き、堀川淳シニア委員長ら5人を「県協会功労者」として、さら

に今後の県サッカー協会運営等を担うべき人材に贈られる「緒方健司賞」に星津章博常務理事ら4人を選出し、表彰しました。また、県出身の各カテゴリー日本代表選手であるサガン鳥栖・松岡大起選手ら7人を、各個人の功績と今後の活躍を期待して表彰。

加えて、この日は文部科学大臣、日本協会功労者、県教育委員会、県体協、全国大会上位入賞チームの各表彰披露が行われた後、受賞者を代表して



「県協会功労者」に選ばれた5人の皆さん(中央は前川隆道会長)



「日本代表表彰」。今年度は7人が選出され、表彰を受けました



「緒方健司賞」を受賞された4人

芦北町協会の吉野利敬副会長が謝辞を述べられ、表彰式を終えました。続く祝賀会は、甲佐町の奥名克美町長による乾杯の発声でスタート。晴れの席にふさわしい華やかな雰囲気になりました。

➡大会結果、7ページからの続きです

KFA 全日本大学フットサル大会熊本県大会2019

日程：5/19
会場：ウィングまつばせメインアリーナ
結果：優 勝／熊本学園大学
準優勝／熊本大学
第3位／熊本大学医学部

JFA 第25回全日本U-15フットサル選手権大会熊本県大会

日程：8/10・11・12
会場：大矢野総合体育館
結果：優 勝／エスペランサ熊本
準優勝／バレイアサッカークラブ
第3位／なかよし会

JFA 第10回全日本U-15女子フットサル選手権大会熊本県大会

日程：8/12・13
会場：大矢野総合体育館
結果：優 勝／ヴィラノーバ
準優勝／益城ルネサンス

JFA 第25回全日本フットサル選手権大会熊本県大会

日程：10/14・19・20
会場：大矢野総合体育館ほか
結果：優 勝／EGOISTA
準優勝／エンフレンテ熊本

JFA 第14回全日本ビーチサッカー大会熊本県大会

日程：7月
会場：御立岬海水浴場
結果：優 勝／なかよし会
準優勝／エスペランサ熊本
第3位／ESTATE

九州大会

〈1種 学生〉

第34回九州各県大学リーグ決勝大会

日程：11/30・12/1
会場：志布志運動公園(鹿児島)
結果：優 勝／西日本工業大学
(熊本大学医学部：一回戦敗退)

〈女 子〉

KYFA 第16回九州女子サッカーリーグチャレンジ大会

日程：1/12・13
会場：長崎県立百花台公園サッカー場 他
結果：優 勝／八代フューチャーズレディース
(九州女子サッカーリーグ2部に昇格)

KYFA 第24回九州U-15女子サッカー選手権大会

日程：6/15・16
会場：霧島市国分運動公園陸上競技場 他
結果：優 勝／神村学園中等部女子サッカー部(鹿児島)
(MELSA熊本FCソヒア：1回戦敗退、
熊本ユナイテッドSCフローラ：準決勝敗退)

KYFA 第31回九州なでしこサッカー大会

日程：5/11・12
会場：長崎県島原市営平成町人工芝グラウンド(長崎)
結果：優 勝／ヴィクサーレ沖縄FCナビィータ(沖縄)
(熊本ルネサンスFC：1回戦敗退、
秀岳館高等学校：2回戦敗退)

KYFA 第37回九州女子サッカー選手権大会

日程：10/12～14
会場：福岡フットボールセンター(福岡)
結果：優 勝／国見FCレディース(長崎)
(東海大学付属熊本星翔高等学校、秀岳館高等学校：1回戦敗退、
熊本ルネサンスFC：2回戦敗退)

KYFA 第23回九州U-18女子サッカー選手権大会

日程：10/19・20
会場：金武町フットボールセンター(沖縄)
結果：優 勝／ヴィクサーレ沖縄FCナビィータユース
(熊本ユナイテッドSCフローラ：3位)

KYFA 第28回九州大学女子サッカー選手権大会

日程：11/2～4
会場：大津町運動公園多目的広場 他
結果：優 勝／福岡大学(福岡)
(中九州短期大学：決勝トーナメント1回戦敗退)

全国大会

〈女 子〉

JFA 第22回全日本U-18女子サッカー選手権大会

日程：1/3～7
会場：J-GREEN堺(大阪)
結果：優 勝／日テレ・メニーナ(東京)
(熊本ユナイテッドSCフローラ：1回戦敗退)

JFA 第30回全日本O-30女子サッカー大会

日程：3/16～18
会場：時之栖スポーツセンター裾野グラウンド(静岡)
結果：優 勝／UILANI FC(埼玉)
(益城ルネサンス熊本FC：2位トーナメント準優勝)

JFA 第30回O-40女子サッカーオープン大会

日程：3/16～18
会場：三木総合防災公園(兵庫)
結果：優 勝／グスターレ大阪(大阪)
(スポーツの森・大津マリノス：1位トーナメント8位)

JFA 第24回全日本U-15女子サッカー選手権大会

日程：7/27～8/3
会場：J-GREEN堺(大阪)
結果：優 勝／浦和レッドダイヤモンズレディース
ジュニアユース(埼玉)
(熊本ユナイテッドSCフローラ：1回戦敗退)

読者投稿募集

皆さんのご意見・ご感想をお待ちしています！

「KFANEWS」編集部では、読者の皆さんからの、ご意見やご感想、サッカーへの熱い想い、取り上げてほしいチーム・選手や話題などを募集しています。ご応募いただいた方の中から抽選で3名様に、ノベルティ・グッズを差し上げます。県サッカー協会のHPにある申込フォームに下記の必要事項を記入の上、ご応募ください。また、いただいた投稿は、次号の「読者投稿」のコーナーで掲載させていただく場合もございますので、ペンネームもお忘れなく！

■必要事項：住所・氏名・年齢・職業・連絡先・ペンネーム・サッカー歴(またはサッカーファン歴)・本紙のご感想やご意見、その他サッカーについて語りたいこと

■宛て先：一般社団法人 熊本県サッカー協会「KFA NEWS」読者投稿係
申込フォーム／<http://kumamoto-fa.net/about/news/>
(右記QRコードからもアクセスできます)
FAX.096-247-6981

■締切：2/28(金)

※いただいた個人情報は、プレゼント発送のためだけに使わせていただきます。また、投稿にペンネームのない方は、お名前のイニシャルで掲載させていただきます。ご了承ください。



「KFA NEWS」は、
ここで手に入れよう！

「KFA NEWS」は、サッカー協会員以外の一般の方でも手にいれることができます。事務局にお越しいただくか、下記URLからダウンロードできます。

<http://kumamoto-fa.net/about/news/>



右記QRコードからも
アクセスできます➡



編／集／後／記

熊本県サッカー協会内に、2年前に「障がい者サッカー部会」が立ち上がり、今年度からは「チャレンジ委員会」として認められました。その過程の中で、聴覚・視覚・精神・知的障がいなど、県内でそれぞれに障がい者サッカーに関わり、取り組まれていた方々が繋がりはじめ、さらに一般の方とも交流ができてつつあることは大きな前進だと実感しています。今後は、他の障がい者サッカー競技の開拓や障がい者スポーツへの理解を、さらに深めていくための展開をしていかなければと考えています。もちろん、「KFA NEWS」の紙面を通じても発信していければと強く思っています。(湯原)

「KFA NEWS」を手に取り、最後まで読んでいただいて本当にありがとうございます。私がサッカーを始める大きなきっかけとなったのは、1993年5月のJリーグ開幕でした。幼少期に見たレーザー光線に彩られた華やかな開幕セレモニーは、今でも鮮明に覚えています。あれから26年。今、私が所属しているチーム名は、その開幕戦に由来しており、何か感慨深いものを感じます。本紙も、2002年10月からスタートし、17年にわたり発行を重ねてきました。ぜひ皆さんも、熊本県サッカーの歴史を「KFA NEWS」を通じ振り返ってみてはいかがでしょうか。(荒木)